

# Bonjour

ボンジュール!!

2013年  
8月29日号

Vol.114



## 「Sell in May」の続きは・・・？

### ● Sell in May

5月8日号のボンジュール(Vol.94)で、米国の有名な相場格言「Sell in May(5月に株を売れ)」を取り上げました。毎年年初から上昇基調にあった株価がこの時期に落ち着く傾向にあること、また、5月と11月に多くのヘッジファンドが決算を迎えるため、ポートフォリオを調整することなどが背景にあるといわれています。

元々は米国の格言ですが、これは日本にも当てはまるのでしょうか？

残念ながら、結果は格言通りになってしまいました。5月23日に日本株は急落し、しばらく乱高下が続きました。主な理由は、米国で金融緩和の規模が早期に縮小されるという懸念が浮上したことや、中国経済の先行きを示す5月のHSBC中国製造業購買担当者景気指数(PMI)が悪化したことです。

### ● 9月には株価が底を打つ？

この有名な格言には続きがあり、「Don't come back until St. Leger's day(9月の第2土曜日に競馬の大きなレースが開かれるセント・レジャーズ・デイまで市場に戻ってくるな)」や、「But remember to come back in September(9月に市場に戻ってくるのを忘れるな)」といわれています。いずれも、9月頃には株価が底を迎える傾向があるからです。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

### ● 日本株にも当てはまる？

過去30年で、日経平均株価は5月に17回下落しました。その年の秋口(8月～11月)の騰落率を見ると、5月に下落した年17回中、11回が上昇に転じています。

■ 日経平均株価が過去、5月に下落(Sell in May)した年と秋口の騰落率(期間、1982年5月～2013年5月)

	月間騰落率		8月末～10月末騰落率
2013年5月	-0.6%	2013年10月	?
2012年5月	-10.3%	2012年10月	1.0%
2011年5月	-1.6%	2011年10月	0.4%
2010年5月	-11.7%	2010年10月	4.3%
2006年5月	-8.5%	2006年10月	1.6%
2004年5月	-4.5%	2004年10月	-2.8%
2001年5月	-4.8%	2001年10月	-3.2%
2000年5月	-9.1%	2000年10月	-13.8%
1999年5月	-3.5%	1999年10月	2.9%
1996年5月	-0.4%	1996年10月	1.5%
1995年5月	-8.2%	1995年10月	-2.6%
1993年5月	-1.8%	1993年10月	-6.3%
1991年5月	-1.2%	1991年10月	12.9%
1988年5月	-0.1%	1988年10月	2.3%
1984年5月	-9.5%	1984年10月	6.3%
1983年5月	-0.2%	1983年10月	1.8%
1982年5月	-0.9%	1982年10月	1.9%

出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

9月は米連邦公開市場委員会(FOMC)、ドイツの総選挙、2020年の夏季オリンピックの開催地決定など、マーケットに影響を与えそうな材料が目白押しです。

5月とは反対に格言通りに9月には株価が底を打つことを期待したいと思います。